



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 株式会社 巴川製紙所

上場取引所 東

コード番号 3878 URL <http://www.tomoegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 善雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略本部長 (氏名) 山口 正明

TEL 054-256-4319

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,325	△13.8	473	△53.1	501	△46.2	298	△50.6
23年3月期第1四半期	10,814	8.5	1,009	481.1	932	541.0	604	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 351百万円 (△30.6%) 23年3月期第1四半期 506百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.85	—
23年3月期第1四半期	11.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	44,036	12,477	26.1
23年3月期	46,877	12,359	24.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,504百万円 23年3月期 11,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	△15.3	400	△74.2	500	△64.4	300	△67.3	5.88
通期	37,000	△11.1	1,000	△61.3	1,100	△55.7	700	△59.4	13.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	51,947,031 株	23年3月期	51,947,031 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	937,564 株	23年3月期	935,973 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	51,010,312 株	23年3月期1Q	51,013,523 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間及び通期を本資料において修正しております。
2. 当資料に記載の業績予想は、決算発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「当四半期の連結業績に関する定性的情報」(3) 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初、前期末に発生した東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断や電力供給の制約等で生産活動が大幅に停滞するなど厳しい状況に陥ったものの、想像を超えた速度で復旧活動が進んだことから、当第1四半期末にかけて景気は徐々に上向きに転じてきました。

このような経済状況の下、当社グループは、震災影響のミニマム化と早期克服を最重要課題とし、原材料調達といった生産活動に直結する課題に総力を挙げ重点的に取り組んだ結果、生産活動への影響は最小限にとどめることができました。しかしその一方で、消費者マインドの低下等から一部の主力製品の受注が急速に落ち込むなど、需要面において震災影響が徐々に現れ始めました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、凸版印刷株式会社と共同で進めている液晶ディスプレイ向け光学フィルム関連事業の推進体制見直しの影響もあり、景気の急速な回復局面にあった前年同期に比べ14億8千9百万円の減収の93億2千5百万円（13.8%減）となりました。

利益面につきましては、鋭意収益改善対策を推進する中で、当第1四半期連結累計期間の営業利益は4億7千3百万円となり、収益性の高い製品群の出荷があった前年同期に比べると5億3千5百万円（53.1%減）の減益となりました。経常利益は有利子負債の圧縮を進め支払利息の削減に努めるとともに、前述の凸版印刷株式会社との共同事業を営む合弁会社に係る持分法による投資利益を計上したことなどから5億1百万円となり、前年同期に比べると4億3千1百万円（46.2%減）の減益となりました。また、四半期純利益は2億9千8百万円となり、前年同期に比べ3億5百万円（50.6%減）の減益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

①プラスチック材料加工事業

フラットパネルディスプレイ（以下FPDと略す。）関連製品は、ハイエンドモデルのテレビ販売の伸び悩み等により受注が大幅に減少しました。また、半導体関連製品及び化成品（トナー）は、好調に推移した前年同期に比べると国内市場を中心に受注が減少しました。これに上記の液晶ディスプレイ向け光学フィルム関連事業の体制見直しの影響が加わり、売上高は60億6千9百万円（対前年同期比18.9%減）となりました。

プラスチック材料加工事業の利益面につきましては、受注減の影響を受けたことなどから、セグメント（営業）利益は3億3千9百万円（対前年同期比64.3%減）となりました。

②製紙・塗工紙関連事業

製紙・塗工紙関連事業は、塗工紙分野の一部製品がライフサイクルの関係から需要減が続く中で、機能紙分野の新製品が成長したことなどから、売上高は32億3千3百万円（対前年同期比2.2%減）となりました。

製紙・塗工紙関連事業の利益面につきましては、新製品の成長に加え収益改善対策の効果などから、セグメント（営業）利益は1億8百万円（対前年同期比172.9%増）となりました。

(参考) セグメントの概況

(単位：百万円 比率：%)

	売上高			セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
プラスチック材料加工事業	7,485	6,069	△18.9	949	339	△64.3
製紙・塗工紙関連事業	3,304	3,233	△2.2	39	108	172.9
その他	25	23	△8.1	6	17	155.7
計	10,814	9,325	△13.8	996	465	△53.3
調整額	—	—	—	12	8	—
四半期連結損益及び 包括利益計算書計上額	10,814	9,325	△13.8	1,009	473	△53.1

(注) セグメント利益は営業利益に相当します。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、440億3千6百万円で、前連結会計年度末に比べ28億4千1百万円の減少となりました。流動資産は218億2千9百万円で、前連結会計年度末に比べ30億3千万円の減少となり、その主な要因は現金及び預金・受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。固定資産は222億7百万円で、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円の増加となり、その主な要因は非連結子会社設立に伴う投資有価証券の取得によるものです。

負債合計は、315億5千9百万円で、前連結会計年度末に比べ29億5千8百万円の減少となりました。流動負債は219億3千5百万円で、前連結会計年度末に比べ13億4百万円の減少となり、その主な要因は未払法人税等の減少によるものです。固定負債は96億2千4百万円で、前連結会計年度末に比べ16億5千4百万円の減少となり、その主な要因は長期借入金の減少によるものです。なお、当第1四半期連結会計期間末における有利子負債残高は、177億6千3百万円と、前連結会計年度末に比べ20億4百万円の減少となりました。

また、純資産は、124億7千7百万円で、前連結会計年度末に比べ1億1千7百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ18億1千6百万円減少し、45億3千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が8億5千万円増加したことや法人税等の支払額が7億6百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益4億7千6百万円の計上や減価償却費5億3千4百万円の計上に加え、売上債権が16億5千万円減少したことなどから9億7千1百万円の増加となり、前年同期と比べ7億7千2百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が4億1百万円あったことなどから、5億3千5百万円の減少となり、前年同期と比べ4億8千6百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が1億4千5百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が22億7千5百万円あったことなどから23億1千9百万円の減少となり、前年同期と比べ14億7千6百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、グループ全体ではほぼ計画を達成したものの、主力のプラスチック材料加工事業においてF P D関連製品を中心に、当第1四半期後半にかけて受注が低調になりました。この受注減の環境は暫く継続するものと予想され、また急激な円高の進行による輸出案件の採算性悪化も予想されること、さらには新興国の景気回復の鈍化や欧米の景気停滞という経済環境の下振れを勘案する中で、平成23年5月13日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を下方修正することといたしました。

詳しくは、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,413	4,590
受取手形及び売掛金	9,026	7,368
製品	5,438	6,017
仕掛品	75	75
原材料及び貯蔵品	1,876	2,115
その他	2,042	1,674
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	24,859	21,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,569	8,440
機械装置及び運搬具（純額）	5,214	5,107
その他（純額）	5,030	5,200
有形固定資産合計	18,814	18,747
無形固定資産	457	427
投資その他の資産		
その他	2,748	3,034
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,746	3,032
固定資産合計	22,018	22,207
資産合計	46,877	44,036
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,588	7,589
短期借入金	1,494	1,524
1年内返済予定の長期借入金	9,821	9,480
未払法人税等	733	57
賞与引当金	525	161
その他	3,075	3,122
流動負債合計	23,239	21,935
固定負債		
長期借入金	8,451	6,758
退職給付引当金	1,928	1,993
役員退職慰労引当金	141	144
その他	757	728
固定負債合計	11,278	9,624
負債合計	34,518	31,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 894	2, 894
資本剰余金	3, 582	3, 582
利益剰余金	6, 115	6, 185
自己株式	△323	△323
株主資本合計	12, 269	12, 339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	68
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△920	△903
その他の包括利益累計額合計	△857	△834
少数株主持分	947	972
純資産合計	12, 359	12, 477
負債純資産合計	46, 877	44, 036

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	10,814	9,325
売上原価	8,582	7,576
売上総利益	2,232	1,749
販売費及び一般管理費	1,223	1,275
営業利益	1,009	473
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	17
持分法による投資利益	4	57
補助金収入	18	22
その他	39	59
営業外収益合計	78	157
営業外費用		
支払利息	117	90
その他	37	38
営業外費用合計	154	129
経常利益	932	501
特別利益		
固定資産売却益	2	0
その他	7	—
特別利益合計	10	0
特別損失		
子会社役員特別退職金	—	19
固定資産除却損	18	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6	—
特別損失合計	24	26
税金等調整前四半期純利益	918	476
法人税、住民税及び事業税	202	41
法人税等調整額	83	115
法人税等合計	286	157
少数株主損益調整前四半期純利益	631	318
少数株主利益	27	20
四半期純利益	604	298

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主利益	27	20
少数株主損益調整前四半期純利益	631	318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	3
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	△51	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△0
その他の包括利益合計	△125	32
四半期包括利益	506	351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480	321
少数株主に係る四半期包括利益	25	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	918	476
減価償却費	578	534
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20	64
受取利息及び受取配当金	△16	△18
支払利息	117	90
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
補助金収入	△18	△22
売上債権の増減額 (△は増加)	223	1,650
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△202	△850
仕入債務の増減額 (△は減少)	878	8
その他	△489	△161
小計	1,959	1,774
利息及び配当金の受取額	16	18
利息の支払額	△147	△116
法人税等の支払額	△103	△706
その他	18	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,744	971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50	△401
貸付金の回収による収入	—	100
子会社株式の取得による支出	—	△208
その他	2	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△244	△25
長期借入れによる収入	4,852	145
長期借入金の返済による支出	△5,648	△2,275
少数株主からの払込みによる収入	159	—
配当金の支払額	—	△213
少数株主への配当金の支払額	—	△4
その他	37	53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△843	△2,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	866	△1,816
現金及び現金同等物の期首残高	5,618	6,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,484	4,539

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	7,485	3,304	10,789	25	10,814	—	10,814
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	115	115	232	348	△348	—
計	7,485	3,420	10,905	258	11,163	△348	10,814
セグメント利益	949	39	989	6	996	12	1,009

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,069	3,233	9,302	23	9,325	—	9,325
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	37	37	229	266	△266	—
計	6,069	3,270	9,339	252	9,592	△266	9,325
セグメント利益	339	108	447	17	465	8	473

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。